

令和 4 年度 教育活動報告書



長野県上田千曲高等学校

全日制 メカニカル工学科 電気科 建築科 商業科 生活福祉課 食物栄養科

機械科（3 年） 電子機械科（3 年）

定時制 機械科

機械科と電子機械科合同の課題研究発表会を行いました 【機械科電子機械科】 1月



長野県さのこ料理コンクール入賞者 【食物栄養科】 3月



クエストカップ2022 優秀賞獲得全国大会へ 【商業科】 2月



全商商業経済検定試験全科目合格者表彰【商業科】3月



アーク溶接特別教育を実施しました 【機械科・電子機械科】 3月



(株)上田自動車学校より工具セットを寄贈していただきました【機械班】 4月



特別授業「製菓教室」
【生活福祉科】 5月



「上田で、にちぎん」オンライン授業受講
【商業科】 5月



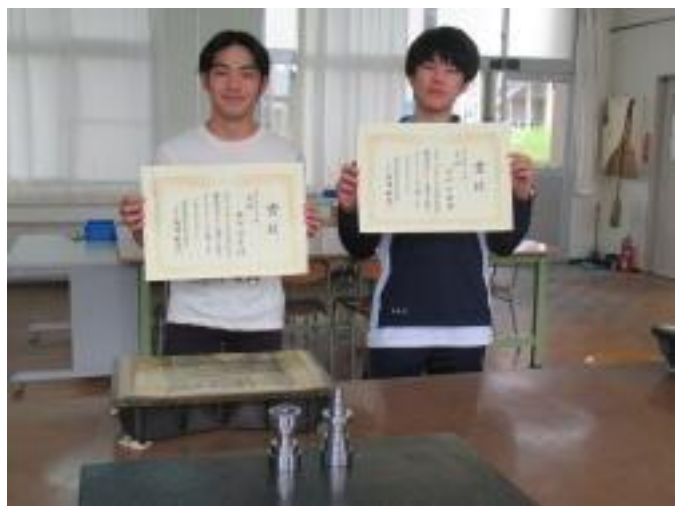
信金出前授業 「インプット&アウトプットで学ぶビジネスマナー」受講【商業科】 6月



外部講師 「シュー・ア・ラ・クレーム」実習
【食物栄養科】 5月



令和3年度長野県技能競技大会（機械検査3級）にて
長野県3位に2名が入賞しました
【機械科・電子機械科】 6月



生徒自ら行う環境整備事業【理科班・ボランティア班・SDG s 同好会】 7月



Ene-1 SUZUKA challenge に挑戦、クラス 3 位に入賞しました【機械班】 8月



千曲祭開催【学校行事】 7月



フォークリフト特別教育を実施しました【メカニカル工学科】 8月



Ene-1 MOTEGI GP に挑戦、クラス 3 位に入賞しました【機械班】 10月



長野県高写連フォトコンテスト入賞

信濃毎日新聞2022年(令和4年)1月13日

県高写連フォトコンテスト
 「推薦」に上田千曲の小池さん



推薦に選ばれた小池さんの「深秋」

本々の下を走る列車を印象的に捉えた上田千曲高(上田市)1年、小池優季さんの「深秋」が選ばれた。

この作品1点と昨年11月の第28回県高校写真展で入賞した上位4点は、7月末から東京都で開く全国高校総合文化祭の写真部門に出展される。推薦以外の入賞者は次の通り(敬称略)。

▽特選「虹色に映る心」伊藤梨々香(伊那市立丘1年)「愛猫の祝福」横前結衣(飯田女子2年)

入選今鮮明に「村山愛」(上田東2年)「夜の町歩き」沖大斗(松岡学園1年)「決まってるぜ」加藤ゆい(伊那西2年)「ほほえみ」谷口里菜(伊那西2年)「悪魔つばい」山崎美心(飯田女子1年)

県高校写真連盟主催の「第23回長野県高写連フォトコンテスト」(信濃毎日新聞社、長野県高写連共催)の審査が8日新聞社賞には、色づいた

上田千曲高 内閣府表彰を報告

信濃毎日新聞2022年(令和4年)1月13日

上田千曲高内閣府表彰を報告

社会貢献活動で顕著な功績のあった団体や個人に贈られる内閣府の「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」で、本年度の内閣府特命担当大臣表彰を受けた上田千曲高校（上田市）ボランティア班の生徒2人が、県庁で県庁第一興教育

ボランティア班の2人 県庁訪問

長に報告した。長年、カンボジアの農村地域に井戸を寄付する活動などを経験してきた、全校生徒や地域の皆さんのおかげで、賞を頂けてうれし」と話した。

井戸の寄付は同校同窓会や定時制教育振興会の協力もあり、1997年から続く。毎年1基の井戸を贈るために10万円の資金を募り、文化祭や地域の催しでカンボジア農産物や生花作りなどのミサナガなどを販売。その他、福祉施設との交流や、催しの手伝い、平和学習などもしている。

今後はオンラインで現地の様子を確認したいという。班長の2年上田柳樹さん（17）は「子供たちが喜んでくれるといい」。副班長の2年佐々木心優さん（17）は「コロナ下でもできる活動内容を考えていきたい」と話した。



表彰を受けて活動を報告する班長の上田さん（右）と副班長の佐々木さん

(第3種郵便物認可)

ニュース・総合

(3)

目銀のオンライン授業が好評

3D・VRで本館見学など

コロナ禍で修学旅行が中止となった学校現場からは要望を踏まえ、日本銀行が昨年度から始めたオンライン授業の予約数が増えている。職員による目銀の役割の解説や、3D・VR映像を活用した本館本館のリモート見学などで構成。学校からは「通常のカリキュラムに組み込めるため、コロナ禍が落ち着いた後も続けてほしい」との声が上がる。

学校向けにも英語で授業を行った。本年度は既に10件以上予約が寄せられている。

11日には、長野県上田千曲高校と目銀の本店、松本支店の3拠点でオンラインでつないで授業を行った。生徒たちはクイズに回答しながら、目銀の仕事やお金との付き合い方について学んだ後、360度の映像を通して本館本館を見学した。

昨年度は小・中学校や高校・大学、大学院で計21回実施した。シングルボールなど海外の

日本銀行本店本館の特設スタジオから授業を配信する職員

授業後、同校3年のある「72の法則」が面白い。丸山匠さんは「資産白く勉強になった」、をう倍にするために必春日原全さんは「目銀に寄り添いたい」と訴要な投資期間を計算するの本店本館は上から見

ると「目」という漢字に見えの、入り口の部屋は八角形のが印象的だったと話した。中澤涼子教諭は「一修学旅行が中止となる中で本館を案内してもうそれは貴重機会だったと語った。

目銀情報サービス員の川村憲章企画役は「体験価値が高いリアルな見学・情報発信力が高いデジタルコンテンツの活用を融合した運営を続けながら修学旅行に行きずらなっている学校のニーズに寄り添いたい」と訴えている。

建築や測量、現場で学ぶ 上田千曲高3年 信濃毎日新聞2022年(令和4年)5月27日

2022年(令和4年)5月27日 金曜日
地域
20

建築や測量 現場で学ぶ

上田千曲高3年 地元見学

上田千曲高校(上田市)建設、工事内容も測量機器の使用の3年生が25日、上田市内の建設現場で、若手技術者の指導を受け、現場で学ぶ。若手技術者の指導を受け、現場で学ぶ。若手技術者の指導を受け、現場で学ぶ。

点検！上田のバリアフリー 上田千曲高生、障害の疑似体験通じ 信濃毎日新聞2022年(令和4年)6月3日

点検！上田のバリアフリー

上田千曲高生 障害の疑似体験通じ

上田千曲高校生活福祉部の3年生14人が、上田市の上田城跡公園や周辺道路でバリアフリー状況を調べた。視覚障害者の角谷由紀さん(49)や車いす利用者3人も同行。生徒は視覚が狭まるゴーグルを着けるなど障害の疑似体験もしながら、生活の妨げになる段差などの表情を学んだ。

上田千曲高校生活福祉部の3年生14人が、上田市の上田城跡公園や周辺道路でバリアフリー状況を調べた。視覚障害者の角谷由紀さん(49)や車いす利用者3人も同行。生徒は視覚が狭まるゴーグルを着けるなど障害の疑似体験もしながら、生活の妨げになる段差などの表情を学んだ。

介護や保育の仕事、体験 上田千曲高生が子ども向け講座 信濃毎日新聞2022年(令和4年)6月10日

介護や保育の仕事 体験

上田千曲高生が子ども向け講座

上田千曲高校(上田市)生活福祉部の2、3年生18人が、福祉の仕事を経験できる子ども向けの催し「ふくしニア」を上田市のアリオ上田店で開いた。介護、看護、保育、リハビリの4ブースで現役の

小学2年生松橋怜央君(7)は「楽しかった。赤ちゃんの服のボタンを留めるのが難しかった」と話した。

「ふくしニア」は「医療用語を簡単な言葉で説明するのが難しかったけれど、子どもたちが楽しそうに体験してくれてうれしかった」と振り返った。

マニフェストスイッチ・参院選 上田千曲高「公共」の授業 信濃毎日新聞2022年(令和4年)7月7日

候補者の主張整理 模擬投票

上田千曲高「公共」の授業

上田千曲高校(上田市)生活福祉部の1年生36人が、6月21日付朝刊の「マニフェストスイッチ」特集紙を参考に立候補者6人の政策や考えを比較し、投票票を決めた。

上田千曲高校(上田市)生活福祉部の1年生36人が、6月21日付朝刊の「マニフェストスイッチ」特集紙を参考に立候補者6人の政策や考えを比較し、投票票を決めた。

DX 人材育成へ事業体立ち上げ 信州 IT バレー推進協・
県・県教委
信毎日新聞2022年(令和4年)9月8日



DX 人材育成、産官学連携 県×企業×高校×県工科短
大 高校から体験活動や学びを支援
信濃毎日新聞2022年(令和4年)9月7日

